

「内科専門医試験 バーチャル模試2022」正誤表

本番組におきまして、以下の誤りがございました。ここに訂正させていただきますとともに、深くお詫び申し上げます。

回/番組名	時間	該当箇所	誤	正
第3回 第41～60問	0:25:33	第55問 問題	2次治療としてリツキシマブの効果が示されている疾患のうち、わが国でリツキシマブが保険適用とされている疾患はどれか。3つ選べ。	2次治療としてリツキシマブの効果が示されている疾患のうち、わが国でリツキシマブが保険適用とされている疾患はどれか。2つ選べ。
	0:26:23	第55問 正解	c 後天性血友病 d 後天性血先生血小板減少性紫斑病 e 特発性（免疫性）血小板減少性紫斑病	d 後天性血先生血小板減少性紫斑病 e 特発性（免疫性）血小板減少性紫斑病
	0:26:45	第55問 解説	日本国内で保険承認されている免疫疾患は血液疾患ではITP、TTP、後天性血友病の出血・凝固系疾患です。	日本国内で保険承認されている免疫疾患は血液疾患ではITP、TTPの出血・凝固系疾患です。
第4回 第61～80問	0:20:52	第72問 正解	b テリパラチド	e ロモズマブ
	0:21:05	第72問 解説	ロモズマブは骨形成作用を有し、骨形成マーカーが上昇します。 テリパラチドは、骨抑制作用と骨吸収作用の両方を有します。 ビスホスホネート薬は、長期投与により骨形成抑制作用が出現することがあり、その結果、骨折の発生が報告されていますが、その発生率は低いため、この問題ではテリパラチドが正解となります。	テリパラチドは、骨形成作用を有し、骨形成マーカーが上昇します。 ロモズマブは骨吸収抑制作用と骨形成作用の両方を有します。 ビスホスホネート薬は、長期投与により骨形成抑制作用が出現することがあり、その結果、骨折の発生が報告されていますが、その発生率は低いため、この問題ではロモズマブが正解となります。
第8回 第141～160問	0:34:33	第158問 正解	e 抗血小板薬導入	d 腰椎穿刺